

新規就農者を積極受け入れ

放棄地解消担い手に

千葉県 独自事業で後押し
佐倉市

千葉県佐倉市は新規就農者を積極的に受け入れ、耕作放棄地の解消につなげている。大規模農業生産法人などと並ぶ「耕作放棄対策の担い手」と位置付け、市独自の事業で後押しする。3年間で約7分の1の耕作放棄地を解消した。

同市の対策は、耕作放棄地の発生抑制と解消の2本柱。耕作放棄予防対策事業は、新規の利用集積設定に対して10万円当たり1万5000円を3年にわたって補助する。耕作放棄地解消事業では、耕作放棄を解消した場合に同1万6000円を補助する。

同市には毎年数人が市外から新たに就農する。事業対象にこうした新規就農者を含める。農業生産法人などの担い手は水

田農業、新規就農者は野菜を主に手掛ける。その結果、2008年に164・9畝だった耕作放棄面積は160畝に減少。今年度も2分の1の耕作放棄地が解消される見通しだ。

新規就農者の谷洋一郎さん(35)は市の紹介で耕作放棄地解消事業に参加した。「助成は経営の安定化につながる。規模拡大の足がかりにもなる」と考えた。就農して1年半になる谷さんは現

在、野菜50品目を90坪で栽培しながら、同市飯田地区の4カ所で約50坪の解消作業を引き受ける。

地域とのつながりや機械装備が不十分な新規就農者には、地域の協力が不可欠だ。谷さんの場合、親身に相談に乗ってくれたり、畑から樹木を除去する際に重機操作を手伝ってくれたりする人など、周囲のバックアップを受ける。「解消活動を通じて住民との信頼関係が構築できた」と話

し、今後も積極的に関わ
る考えだ。



耕作放棄地の解消に積極的に関わる谷洋一郎さん⑤